

令和5年度 第1回柏原市総合教育会議議事録

日 時	令和5年8月23日(水) 午後3時から午後3時40分
場 所	大会議室 (本館4階)
出 席 者	(柏原市総合教育会議構成員) ○市長 富宅 正浩 (議長) ○教育委員会教育長 新子 寿一 ○教育委員会教育長職務代理者 田中 保和 ○教育委員会委員 近藤 温子 ○教育委員会委員 西村 弥生子 ○教育委員会委員 太田 貴之
欠 席 者	○なし
傍 聴 者	○なし
関 係 者	○副市長 松井 久尚 ○政策推進部長 市川 信行 ○政策推進部総合政策監 山口 伸和 ○教育部長 桐藤 英樹 ○教育部教育監 中平 好美 ○教育部文化財課長 松田 佳世 ○教育部教育総務課長 栗田 聖子 ○教育部教育総務課課長補佐 塩谷 行由 ○教育部学務課長 北野 典子 ○教育部指導課長 小室 吉昭
事 務 局	○政策推進部企画調整課長 榎内 秀夫 ○政策推進部企画調整課主事 岩本 亜理沙
会 議 次 第	1 開会 2 市長あいさつ 3 議事 (1) 問題行動、不登校、いじめ問題について (2) 英語教育について (3) 日本語指導について (4) スクールサポートスタッフについて (5) ICT環境の継続的な整備について (6) 韓国 漢城百済博物館交流事業について (7) その他 4 閉会

議 事

<p>(事務局)</p>	<p>【1 開会】</p> <p>只今から、令和5年度第1回柏原市総合教育会議を開催いたします。</p> <p>皆様には、ご多忙の折にもかかわらず、ご出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>私は、本日の司会を務めます柏原市政策推進部企画調整課の榎内です。よろしくお願いいたします。以後、着座にて失礼いたします。</p> <p>それでは、早速会議を進めさせていただきます。</p> <p>本会議は、柏原市総合教育会議運営要綱第3条第4項にて規定しております開催要件、「市長及び教育長等のうち1名以上の出席による」を満たしておりますので、本会議が成立しておりますことをここでご報告いたします。</p> <p>それでは、会議の開催にあたりまして、富宅市長よりごあいさつをお願いいたします。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>【2 市長あいさつ】</p> <p>皆様、改めましてこんにちは。柏原市長、富宅でございます。</p> <p>本日はお忙しい中、柏原市総合教育会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>また、常日頃から柏原市の教育全般に対しましてご協力をいただき、本当にありがとうございます。</p> <p>さて、コロナの方も第5類に移行しまして、落ち着きを取り戻しつつあるところではございますが、まだまだ教育現場では課題もあるかと思えます。しかしながら、コロナがあったことによって新たに進んだ部分もあると思えますので、新しい教育の形をこれを機にみんなで見つけていけたらと思っています。</p> <p>そして、柏原市の未来を担う子どもたちのために、教育環境は元より、教育内容の充実を含めまして、教育政策の方向性を共有させていただいて、皆様とともに力を合わせながら取組を進めていきたいと考えておりますので、引き続きましてご協力をよろしくお願いいたします。どうか、本日も活発なご議論をよろしくお願いいたします。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>【3 議事】</p> <p>ありがとうございました。それでは、次第3の議事に入らせていただきます。</p> <p>会議は、柏原市総合教育会議運営要綱第3条の規定により、市長が議長となります。</p> <p>ここからの会議の進行をお願いしたいと思いますので、市長よろしくをお願いいたします。</p>

<p>(富宅市長)</p>	<p>はい。それでは、次第3の議事にうつらせていただきます。会議は、柏原市総合教育会議運営要綱第3条の規定により、私が議長を務めさせていただきますので、皆様よろしく申し上げます。</p> <p>議事に入る前に、事務局より傍聴に関する説明をお願いいたします。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>はい。本日の傍聴者は、現在はおられません。ただし、傍聴席は10席ご用意しておりますので、10名に至るまで傍聴を認めていただけますでしょうか。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>来られた方につきまして、傍聴を許可してよろしいでしょうか。</p> <p>(教育委員から、「異議なし」の声があがる)</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>それでは傍聴を許可します。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>それでは、会議をすすめさせていただきます。</p> <p>(新子教育長から発言を求める声あり)</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>どうぞ、ご発言ください。</p>
<p>(新子教育長)</p>	<p>皆さま、改めまして、こんにちは。</p> <p>コロナの5類移行後、学校現場におきましては、児童生徒や教員、保護者の皆様のご協力もあり、本来の学校生活を取り戻してきたところでございます。</p> <p>富宅市長におかれましては、非常に厳しい市の財政状況にあって、2学期の学校給食費無償化や小中学校への体育館空調の設置をはじめ、学校教育、社会教育ともに多くの予算を割いていただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。</p> <p>今後とも、柏原市として変わらぬご協力を賜りますようお願いいたします。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>ありがとうございます。柏原市の子どもたちの明るい未来や市民の生涯学習などのために、この総合教育会議でいただいたご意見を十分に参考にさせていただきながら、様々な施策を進めていきたいと考えておりますので、どうか引き続いてのご理解ご協力をよろしく願いいたします。</p>

<p>(富宅市長)</p>	<p>(1) 問題行動、不登校、いじめ問題について</p> <p>それでは、まず、議事の(1)「問題行動・不登校・いじめ問題について」でございます。</p> <p>長いコロナ禍もあり、子どもたちも色々な制約や制限がある中で学校生活を過ごしてきたことと思います。そして、その制約などが子どもたちに大きな影響を与えている部分があると思いますが、生徒指導の課題から、まずは小学校、中学校における問題行動の状況について、現状をお聞かせいただきたいと思ひます。</p> <p>(田中委員から発言を求める声あり)</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>はい、田中委員お願いします。</p>
<p>(田中委員)</p>	<p>文部科学省が行っている問題行動調査の中では、令和4年度の柏原市の暴力行為は、小学校でも中学校でも増加してきており、特に小学校では224件と令和3年度から4倍以上となっております。</p> <p>小学校におきましては、同じ児童が複数回の暴力行為を行う傾向が強く、中学校におきましては、1件に対して複数人の加害生徒がいる傾向があります。加害児童の中には支援を必要とする子どもも含まれております。</p> <p>市としましては、各学校の生徒指導担当教員を集め、情報交換及び事例研修を行い、発達支持的生徒指導の大切さと教師の役割を周知しております。</p> <p>今年度は、7月に支援教育コーディネーターと生徒指導担当教員を対象に、府のスクールカウンセラー、スーパーバイザーによる研修を実施し、支援教育と生徒指導の連携を強化しております。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>ありがとうございます。令和3年度から令和4年度にかけて暴力行為が増加しているということですので、これは大きな課題であると思ひます。問題行動をしている子どももその周りにいる子どもたちも、その両方の子どもたちにとって学校生活が楽しくなくなる可能性もあると思ひます。</p> <p>そして、子どもたちの問題行動にはもちろん背景があるでしょうし、それらを理解することや、どういったアプローチが必要か見極めていくことは非常に重要であると私も自身も思っています。</p> <p>今後も、子どもたちにとってより良い学校生活が送れるように、きめ細かい取組を、ぜひともよろしく願ひいたします。</p> <p>それでは次に、不登校の状況についてお聞かせいただきたいと思ひます。</p>

	(田中委員から発言を求める声あり)
(富宅市長)	はい、田中委員お願いします。
(田中委員)	<p>同じく令和4年度の調査によりますと、柏原市では小学生57人、中学生104人が不登校でした。柏原市内では10年連続増加となっております。</p> <p>割合でみましても、柏原市内の小中学生は全国や大阪府と比較しても多い状況にあります。学年で見ますと小学校1～3年生、中学1年生で新規不登校生が多くなる傾向があります。</p> <p>不登校児童生徒の理由ですが、無気力不安が小学校30人、中学校81人となっております。なぜ、無気力不安に陥っているのか、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを含めて適切なアセスメントを行う必要があります。スクールソーシャルワーカーについては、令和5年度に全中学校区に配置したところです。</p>
(富宅市長)	<p>はい、ありがとうございます。不登校についても年々増加しているということで、柏原の子どもたちの置かれている状況は厳しいものがあるのかなと感じています。</p> <p>不登校の支援については、先ほどおっしゃっていただいた通り、令和5年度には全中学校区にスクールソーシャルワーカーを配置することができました。教育相談の充実を図りましたが、他にも様々な方法や選択肢を模索していくことも重要であると思います。そういった意味でも、委員の皆様のご意見をぜひともお伺いしたいと思います。</p>
	(西村委員から発言を求める声あり)
(富宅市長)	はい、西村委員お願いします。
(西村委員)	<p>不登校児童生徒は年々増加しており、いかなる児童生徒であっても「登校したくない」あるいは「登校できない」状態になる可能性があります。</p> <p>不登校傾向にある子どもも含めて、不安になっている子どもたちに対しましては早期から柔軟な支援が必要ですし、その経過には時間を要することが多いので、登校することにこだわらず、本人が自己肯定感を低下させないようにする支援が望まれます。</p> <p>しかしながら、要因も様々で個々に対応する必要がありますために、現状の体制では十分とはいえない場合も多いと思います。</p> <p>たとえば、不登校特例校の設置でありますとか、ネットを通じた授業参加、自分のペースで過ごせる場所の提供など、更なる選択肢があ</p>

	<p>ることで、不登校をネガティブにとらえない仕組みができれば、子どもたちのこれからの生活がより自信に満ちたものになるのではないのでしょうか。</p>
(富宅市長)	<p>ありがとうございます。</p> <p>(太田委員から発言を求める声あり)</p>
(富宅市長)	<p>はい、太田委員お願いします。</p>
(太田委員)	<p>今お話にありましたように、年々増加している現状をふまえ、大阪府内の一部の市町村におきましては、不登校支援ルームを校内に設置したり、加配の教員を配置したりするなどの対応がとられています。</p> <p>学校に行かない子どもたちが、自分に合った居場所ができることは将来の社会的自立に向けて、とても大切だと考えています。不登校支援ルームの校内設置や、不登校の担当加配教員等、いろいろな社会的資源が選択肢として選べる状況が柏原市にも必要だと思います。</p>
(富宅市長)	<p>なるほど、ありがとうございます。お二人のご意見をお聞きしても、不登校になってしまう子どもたちの要因は様々であると思います。その子に合った対応、そしてそれをまずきめ細やかに検討して体制を整備するということが、その結果として、子どもたちに等しく教育を受ける機会を確保するということが、教育委員会だけでなく、市全体で取り組むべき課題であると認識しています。</p> <p>私としましても、教育委員会と連携して、先ほどご紹介いただいたような他市の事例なども参考にしながら協力して取り組んでいきたいと思っておりますので、ぜひ皆様、引き続いてお知恵を貸していただきますようよろしくお願いいたします。</p> <p>最後に、いじめ問題についてお伺いしたいと思います。状況を教えていただけますでしょうか。</p> <p>(田中委員から発言を求める声あり)</p>
(富宅市長)	<p>はい、田中委員お願いします。</p>
(田中委員)	<p>令和4年度は、小学校でも中学校でも認知件数が増加しました。暴力行為の増加に比例して増加しております。いじめにつきましては日常の些細なことであっても、積極的に認知していくことが求められており、教育委員会といたしましても、各学校に対しまして、普段から子どもたちの様子や少しの変化を見逃すことなく、いじめの積極的認</p>

<p>(富宅市長)</p>	<p>知により、いじめの早期対応に努めるよう指導しているところでございます。</p> <p>しかし、割合で見ますと、小学校の認知件数が国や府とくらべて低い結果となっております。現在、重大事態の発生はございませんが、見逃しているいじめがないか再点検が必要であると考えております。</p> <p>ありがとうございます。いじめについても認知件数が増加しているということではありますが、いじめというものは多様化ももちろんしてきているでしょうし、なかなか数値だけで状況を表すのは難しい問題だと思っています。</p> <p>学校の先生方が子どもたちの様子を日々細やかに見ておられると思いますが、いじめを未然に防ぐことや迅速な組織での対応に向けては、さらなる積極的な取組が必要であると思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>他に、いじめ問題について、ご意見等ございますでしょうか。</p> <p>(太田委員から発言を求める声あり)</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>はい、太田委員お願いします。</p>
<p>(太田委員)</p>	<p>今の田中委員の発言にもございましたが、いじめ重大事態の案件はないものの、いじめの認知件数は増えており、いつ、重大事態になってもおかしくない状況だと思います。学校現場の取組が功を奏しているとはいえ、いじめを未然に防ぐための取組が今後も必要だと考えます。</p> <p>特に最近はSNSによるトラブルが増加しているということで、小学生からのSNSの正しい使い方等の防止策が必要だと考えています。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>ありがとうございます。不登校やいじめの問題は、市議会の方でも様々なお質問をいただくことが多く、市民の皆様の関心も高い分野かと思われま。</p> <p>今後も引き続き、教育委員会と学校とが連携して、しっかり取り組んでいく必要があると思っていますので、よろしく願いします。</p> <p>そしてまた、これらの問題は学校だけでなく、家庭との連携ということも非常に重要であると思います。</p> <p>私の重点施策としても子育て支援を毎年上げさせていただいておりますし、国もこども家庭庁を発足させて、家庭側からの子育て支援と、子どもの支援を重要な政策としているところでございます。</p> <p>今後も、福祉こども部と教育委員会の連携を進めて、さらに市とし</p>

<p>(富宅市長)</p>	<p>て子どもたちが楽しく学校生活を過ごせるようにしていきたいと思 いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>(2) 英語教育について</p> <p>それでは次に、議事の(2)「英語教育について」でございます。 コロナによる渡航制限が緩和されまして、日本を訪れる外国の方々 はコロナ前の水準に戻ってきております。そして2025年には大阪・関 西万博がいよいよ開催されます。多くの外国人の方が大阪を訪れて、 子どもたちも外国人の方々と触れ合う機会が増加していくと思いま す。</p> <p>外国の方々との触れ合いについては、完璧なものではなくてもいい んですが、英語での意思疎通が必要になるかと思えますし、今後の英 語教育は本当に重要になると思っています。</p> <p>そこで、柏原市における英語教育について、取組状況やご意見をお 伺いしたいと思います。</p> <p>(田中委員から発言を求める声あり)</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>はい、田中委員お願いします。</p>
<p>(田中委員)</p>	<p>柏原市では、平成29年度より、5名の幼小中一貫教育推進教員を 英語教育推進教員として位置づけ、小学校の英語教育の基盤づくりを 図ってまいりました。</p> <p>さらに令和3年度からは、2名の府の小学校英語専科加配を配置し、 更なる小学校の英語教育の充実を推進しております。また、平成22 年度より、企業と派遣委託契約を結び、全中学校区に外国語指導助手 であるALTを派遣しております。5月から12月の間に5名配置し、 各校における配置日数は、週に1回実施できることを基本とし、学校 規模に応じて定めております。</p> <p>積極的にALTを活用することで、単語や文法などの知識の習得だ けでなく、児童同士の英会話の上達の一助となっております。現在、 契約の関係上、2学期までの配置となっており、特に小学校から3学 期まで延長して欲しいとの要望も出ております。今後のALT活用に あたりましては、配置期間の延長を含め検討し、英語教育のより一層 の充実を図ってまいりたいと考えております。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>ありがとうございます。おっしゃられるように、やはりALTの活 用、これが実際に生の英語に触れることができるということで、非常 に重要だと思いますし、子どもたちにとっては英語がより身近なもの</p>

	<p>になってきて、英語でコミュニケーションを取りたいという意欲を高めることにもつながると思います。</p> <p>A L Tを活用することによる効果は大きいものですので、より活用を進める必要があると思いますが、他にご意見等はございますか。</p> <p>(太田委員から発言を求める声あり)</p>
(富宅市長)	はい、太田委員お願いします。
(太田委員)	<p>学校においてA L Tの配置が年度途中で終わることは、子どもたちの英語教育にとって残念な状況です。また優秀なA L Tは、雇用条件の良い市町村を希望することから、子どもたちの英語の力が他市に後れを取る可能性があります。</p> <p>全国学力・学習状況調査においても市内中学生の英語力が少し低くなっているというところで、英語教育の学習環境を整えるためにもA L Tの年間配置は必要だと考えます。</p>
(富宅市長)	<p>ご意見ありがとうございます。A L Tについて、教育委員の皆様のご意見としては、現状をさらに拡充する必要があるということでした。</p> <p>柏原から将来、世界に羽ばたき活躍する子どもたちを育てるためにも、英語教育はその基盤にもなりますし、とても大事な教育活動ですので、A L Tを配置している学校現場の声を聞きながら、子どもたちにもっと英語に親しみ、学習してもらえそうな環境を作れるように考えていこうと思います。</p>
(富宅市長)	<p>(3) 日本語指導について</p> <p>それでは、議事(3)「日本語指導について」にうつりたいと思います。全国的に、外国にルーツのある子どもたちが増加傾向にあるようですが、柏原市の状況とその支援体制についてはいかがでしょうか。</p> <p>(田中委員から発言を求める声あり)</p>
(富宅市長)	はい、田中委員お願いします。
(田中委員)	<p>柏原市では、外国から直接柏原市の学校に編入した子どもを支援するために、日本語指導員、通訳を配置しています。1回2時間程度で3,000円、250回分の予算を確保しておりますが、現在、該当する児童生徒数は52名で、昨年度の1.6倍に急増しております。全国的な傾向にも見られるように、柏原市におきましても今後増加し</p>

	<p>ていくものと考えております。</p> <p>また、編入した子どもたちの言語は、シンハラ語、ウルドゥー語、インドネシア語など多言語化しており、通訳者自体を探すのも難しい状況にあります。言葉が通じないことで、子ども、保護者はもちろん、学校の負担も増えてきております。</p> <p>今後、日本語指導員の増員だけでなく、多言語化に対応できるよう翻訳機などの導入を進め、日本語が必要な子どもたちを支援するための策を、考えていきたいと思っております。</p>
(富宅市長)	<p>ありがとうございます。柏原市においても外国から編入される子どもたちが増えていると、そしてまた多言語化もしているということで、状況は良く分かりました。言語が様々であり、子どもたちの状況もさまざまであるため、対応の方法もケースバイケースで非常にご苦労もあるかと思いますが、サポート面について他にご意見ございますでしょうか。</p> <p>(近藤委員から発言を求める声あり)</p>
(富宅市長)	<p>はい、近藤委員お願いします。</p>
(近藤委員)	<p>外国から来た子供たちはまず日常会話ができるようになることが必要ですが、学校ではさらに難しい教科書の内容を理解していく必要があります。</p> <p>今後も外国人世帯が増えていくことが考えられますので、日本語指導員の方はもちろん、日本語学科の学生さんなど、たくさんの方に支援していただきたいです。</p> <p>そうして充実した学校生活を過ごせた子どもたちは、将来、サポートする側になってくれることも期待できると思っております。</p>
(富宅市長)	<p>ご意見ありがとうございます。確かに、小学校や中学校では日常会話を学びながら、さらに難しい学校の勉強をしなければいけないということで、子どもたち本人にとっては非常に苦労が大きいのかなと思いますし、ご提案いただいたとおり、支援をたくさんの方からいただくというのも一つの方法であると思っておりますので、市としましても検討を行っていければと思っています。</p> <p>そして、柏原の学校で楽しく学んだ外国の子どもたちが、また将来、柏原のために活躍してくれることも期待できますので、支援に力を入れていきたいと思っております。</p>

<p>(富宅市長)</p>	<p>(4) スクールサポートスタッフについて それでは、続いて議事(4)「スクールサポートスタッフについて」であります。本市でもスクールサポートスタッフの皆様には重要な役割を担っていただいているとお聞きしていますが、現状をお聞かせいただければと思います。</p> <p>(田中委員から発言を求める声あり)</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>はい、田中委員お願いします。</p>
<p>(田中委員)</p>	<p>柏原市では、令和2年11月よりスクールサポートスタッフ配置事業を開始し、現在、市内15の小中学校に週15時間勤務のスクールサポートスタッフを1名ずつ配置しております。</p> <p>コロナ禍におきましては、子どもたちが安心して学習活動に取り組むことが出来るよう、水道の蛇口や階段の手すりなど大勢が共通して触れる箇所は、スクールサポートスタッフによる、こまめな消毒作業が行われてきました。これは、子どもたちの安心に加え、感染症対策業務を教職員からスクールサポートスタッフに移行することで、教職員の業務軽減につながり、大きな効果をあげてまいりました。</p> <p>今年5月に新型コロナウイルスが5類へ移行されましたが、感染症対策業務は引き続きスクールサポートスタッフが行い、業務分担を継続することで、効果的な活用が図られております。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>ありがとうございます。コロナ禍においては、感染症対策の業務は人手も時間も要するものでありますし、スクールサポートスタッフの皆様には本当に力になっていただいたことをありがたく思っており、感謝しています。</p> <p>その他の点についてはご意見ございますでしょうか。</p> <p>(新子教育長から発言を求める声あり)</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>はい、新子教育長お願いします。</p>
<p>(新子教育長)</p>	<p>文部科学省では、喫緊の課題である教職員の超過勤務の実情をふまえ、学校における働き方改革の環境整備のひとつとして、スクールサポートスタッフを活用した業務分担を促進しております。授業準備支援や教材印刷等、免許のいらぬ業務をスクールサポートスタッフが行うことで、教職員の超過勤務の軽減につながり、については子どもに向き合う時間が増え、より良い教育活動につながっていくのではないかと考えます。</p>

<p>(富宅市長)</p>	<p>大阪府教育庁にもご尽力いただきながら、柏原市におきましてもスクールサポートスタッフを引き続き配置できますよう継続的な財源支援を要望してまいりたいと考えております。</p> <p>ありがとうございます。現場の先生方には本当に、日ごろから子どもたちのためにご尽力をいただいております、感謝しかありません。先生方が心身ともに健康で、子どもたちと向き合える環境の整備は本当に大事なことであります。</p> <p>この件につきまして、他にご意見はございませんでしょうか。</p> <p>(近藤委員から発言を求める声あり)</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>はい、近藤委員お願いします。</p>
<p>(近藤委員)</p>	<p>スクールサポートスタッフは、感染症対策で学校の力となってくれました。子どもの数が減るにつれて、学級数も減り、その分、先生の数も減らされています。そのため、今まで分担してやっていた仕事も1人でやる必要が出てきているので、1人1人の抱える負担が大きくなっていると委員会でも話があがっていました。</p> <p>柏原市内の学校においても、月80時間以上の時間外勤務をしている教員が多くいると聞いています。先生が、先生でなければできない仕事に集中できるよう、他の人に頼める業務は、引き続きスクールサポートスタッフに頼っていただきたいと思います。子どもたちにとっても、校内で見守ってくれる大人が多いのは心強いことだと思います。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>はい、ありがとうございます。これまでのスクールサポートスタッフの配置につきましては、各学校の新型コロナウイルス感染症対策において、大いに活用されたと聞いております。</p> <p>そして、学校現場では、教職員の皆さんの働き方改革を進める上でも多様な職種の人材が求められておりますし、スクールサポートスタッフもそのひとつだと伺っております。</p> <p>柏原市におきましても、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことも踏まえて、国や大阪府の取組を参考にさせていただき、スクールサポートスタッフについて、考えていきたいと思っています。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>(5) ICT環境の継続的な整備について</p> <p>それでは、続いて議事(5)「ICT環境の継続的な整備について」でございます。令和2年度にGIGAスクール構想を実現するべくICT環境を整備し、教育現場において活用をいただいておりますが、</p>

	<p>こちらについてご意見等ございましたらお願いします。</p> <p>(田中委員から発言を求める声あり)</p>
(富宅市長)	<p>はい、田中委員お願いします。</p>
(田中委員)	<p>国が掲げるG I G Aスクール構想におきまして、児童生徒1人1台の端末が令和7年度中には5年目を迎えます。全国一斉に整備した事業であり、更新の時期が近づくなか、端末の確保も、また、大型提示装置や周辺機器等情報端末以外の機器の確保も難しくなることが予想されております。</p> <p>柏原市におきましても、小中学校でI C Tを効果的に活用した教育を継続的に推進できますよう、更新が必要な機器類の確保や財源に対する措置を講じていただきたいところでございます。</p>
(富宅市長)	<p>ありがとうございます。他にございますか。</p> <p>(新子教育長から発言を求める声あり)</p>
(富宅市長)	<p>はい、新子教育長お願いします。</p>
(新子教育長)	<p>大阪府の都市教育長協議会におきましては、大阪府や国に対してG I G Aスクール構想の実現やI C Tを活用した情報教育やプログラミング教育を一層推進するため、設備・運用経費・更新費用、周辺機器の保守管理等に対する財源措置やセキュリティ対策、ネットワーク環境の整備など将来発生する経費に対する十分な財源の確保や継続的な財源支援を要望しておるところでございます。</p>
(富宅市長)	<p>ご意見ありがとうございます。学校のI C T機器についてはG I G Aスクール構想ということで、全国的な整備として進められたものであります。そして、新型コロナウイルスの感染拡大によって、さらに整備を急いで行うことになりましたが、今後の充実と更新に向けては、継続的な財源の確保という課題があります。</p> <p>子どもたちの将来を見据えたI C T教育を推進していくためにも、適切な時期の更新や内容の充実はもちろん必要と考えておりますので、市としましても、国や大阪府に対して財源支援に対する声を市長会等を通じて積極的にあげていきたいと思っています。</p> <p>他にご意見はございますでしょうか。</p> <p>(太田委員から発言を求める声あり)</p>

(富宅市長)	はい、太田委員お願いします。
(太田委員)	<p>I C T環境が整備されたことにより、小・中学校の授業でI C Tを使用することは、当たり前になっています。机の横にタブレットがあり、必要な時にすぐに使える環境は、学力の向上に欠かせない状況になっているのと同時に、社会に出たときにパソコンやタブレットを使いこなせる力も、これからの子どもたちには必要だと思います。</p> <p>是非、I C T環境の継続的な整備に財源措置をお願いしたいと思っています。</p>
(富宅市長)	<p>ご意見ありがとうございます。いまの子どもたちはスマホも身近にあるでしょうし、I C T機器に触れる機会はもちろんあるでしょうけれど、正しく活用するとなると、やはり学校での教育とか、知識や経験を得ることも必要なことだと思います。I C T環境の維持には努めていきたいと思っています。他にございますでしょうか。</p> <p>(西村委員から発言を求める声あり)</p>
(富宅市長)	はい、西村委員お願いします。
(西村委員)	<p>1人1台のタブレット端末が導入されておりまして、少しずつ活用の幅は広がっているようですけれども、まだまだその余地はあるのではないのでしょうか。</p> <p>子どもたちのI C T利用の実情をよくご存知でないご家庭もあるかと思しますので、さらに広くご理解いただけるようにしていくことも必要ですし、先生方の働き方改革にもっと役立てていくこともできると思います。I C T環境の整備は今後もぜひ継続していただきたいと思えます。</p>
(富宅市長)	<p>ありがとうございます。学校現場においてもI C Tを活用した教育が非常に効果的に実施されていることは、以前からの総合教育会議での議論などから私も存じ上げておりまして、児童生徒1人1台端末が新型コロナウイルス感染症対策の観点からも大いに活用できたことだと思います。</p> <p>柏原市としましても、今後の機器の更新時期に向けまして、国や大阪府に対してI C T環境整備に必要な財源の継続的な措置を求めるとともに、導入時のような機器の不足による導入時期の遅延などが生じないよう、しっかりと考えてまいります。</p>

<p>(富宅市長)</p>	<p>(6) 韓国 漢城百済博物館交流事業について</p> <p>それでは、最後の議題であります。議事(6)「韓国 漢城百済博物館交流事業について」でございます。こちらについてお聞かせください。</p> <p>(田中委員から発言を求める声あり)</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>はい、田中委員お願いします。</p>
<p>(田中委員)</p>	<p>歴史資料館は、昨年、開館30周年を迎え、柏原市民はもちろんのこと、市外からもたくさんの方が訪れています。</p> <p>昨今、インバウンドにつきましても復活の兆しがみられますが、歴史資料館におきましても、昨年4月に、韓国ソウル市にあります「漢城百済博物館」より、学術研究、展示等の相互協力を推進するための交流を図りたいとの依頼があり、11月に3名の職員が柏原市を表敬訪問されました。</p> <p>今後も、このような機会を活かし、歴史資料館を通じて、国際的な交流に取り組んでいただきたいと思いますと考えております。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>(新子教育長から発言を求める声あり)</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>はい、新子教育長お願いします。</p>
<p>(新子教育長)</p>	<p>漢城百済博物館は、ソウル市にあります古代の歴史を扱う考古学専門博物館でございます。昨年、開館10周年を迎えられ、歴史的に百済と緊密に関係してきた日本との交流事業を推進したいとのことで、柏原市立歴史資料館との交流を希求されました。</p> <p>昨年の11月に、漢城百済博物館館長をはじめ、3名の職員が柏原市役所へ来庁されました。その後、歴史資料館を訪れ、意見交換を行い、学芸員の案内で、高井田山古墳や高井田横穴、松岳山古墳を見学していただきました。</p> <p>今年度は、12月に歴史資料館から、漢城百済博物館へ2名の学芸員が視察へ赴き、学術研究のための人材交流を行う予定です。</p> <p>今後はそれを活かし、歴史資料館での展示、講演会等の各種事業に反映させ、市民に交流の歴史について認識を深めていただくとともに、インバウンドへの取組にも活用できたらと考えております。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>なるほど、ありがとうございます。柏原市は、古代において韓国、</p>

<p>(富宅市長)</p>	<p>百済との深い交流があったということがわかっておりますし、そのことから柏原市立歴史資料館が海外の博物館からも注目いただいたことは、非常にありがたいことだと思います。</p> <p>そして、去年は韓国から柏原市へお越しいただき、今年度は柏原市から韓国へお伺いするというので、まずは人材交流を進めていただいて、将来的には交流成果をシンポジウムや講演会、展示等の事業につなげていただいて、市民のみなさまにも広げていただきたいと思います。</p> <p>また、双方の歴史を通じての子ども同士の交流など、国際的な交流事業にも繋げることができればと思っています。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>(7) その他</p> <p>それでは議事の(7)「その他」にうつらせていただきます。</p> <p>はじめに、私から市民文化センターの老朽化に伴う対策についてご説明させていただきたいと思います。</p> <p>市民文化センターにつきましては、老朽化が非常に進んでおまして、柏原市公共施設等再編検討委員会からいただいた再編整備計画(案)においても公民館、図書館の移転先がそれぞれ示されております。</p> <p>私としましては、計画(案)をベースに検討を進めているところではございますが、図書館の移転先につきましては、この計画と並行して、JR柏原駅周辺へ見直すことの検討も必要かと考えております。</p> <p>今後は、駅前周辺の遊休施設の活用手法についても、教育委員会、図書館担当と連携した取り組みとして進めていきたいと考えております。</p> <p>続いてもう1点、お伺いしたいのですが、先日の台風7号によりまして、柏原中学校の体育館への被害があったと聞いておりますが、状況を教えていただければと思います。</p>
<p>(新子教育長)</p>	<p>先日近畿地方に上陸しました台風7号の影響により、柏原中学校の体育館の屋根に被害が発生いたしました。そのため、柔剣道室は8月15日から当面の間、使用を中止しております。修繕工事につきましては、すでに取りかかっております。早期に使用再開できるよう、鋭意進めてまいります。再開の目途がつき次第、市ウェブページにおいてお知らせさせていただく予定でございます。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>ありがとうございます。早速、修繕に取りかかっているということで、本当にありがとうございます。</p> <p>新学期も目前ですので、ぜひ、子どもたちのためにも、1日でも早</p>

<p>(富宅市長)</p>	<p>く使用できるようにしていただけたらと思いますので、引き続きよろしくお願ひいたします。</p> <p>【4 閉会】</p> <p>以上で、議題は終了となります。本日、様々な議題を通しまして、柏原市の教育の現状や課題について教育委員の皆様からご意見をいただき、本当にありがとうございました。</p> <p>委員の皆様には、本市の子どもたちのために、様々な点について気にかけていただいていることを、改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございます。</p> <p>今後も、本市の子どもたちのために、教育委員会と市長部局が協力して、様々なことに取り組んでいかなければなりません。柏原市の教育振興に向けて、引き続きお力添えをよろしくお願ひいたします。本日は本当にありがとうございました。</p> <p>それでは、進行を事務局にお返しします。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>委員の皆様におかれましては、会議でのご議論、誠にありがとうございました。</p> <p>次回につきましては、ご審議いただく案件が生じた段階で、改めて開催の日程調整をさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>令和5年度第1回総合教育会議は、これで終了とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。</p>